

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R3・9・14
			No.30

〈有田市中学生議会〉

国民がみな、ひとつのところに集まって、話し合うことはできないし、たとえできたとしても、やかましくてなにがなんだかわからなくなるだろう。そこで私たち国民は、決められたやり方で「代わりの人」を選び、その人たちを国会に送って、どうすれば私たちの未来が、よりよいものになるか、それをよく話し合ってもらうことにした。

以前にも紹介した、井上ひさしさんの絵本「井上ひさしの 子どもにつたえる日本国憲法」で、やさしい言葉に置き換えられた日本国憲法の「前文」の一部です。今度は、上の文の国民を有田市民に、国会を有田市議会に読み替えて読んでみてください。

有田市への郷土愛と地方自治への関心を高めることを目的に、有田市中学生議会在7月30日(金)に開催されました。3年に一度開催される中学生が議員役を務める模擬議会です。本校からは生徒会執行部の5名のみなさんが参加しました。どうすれば私たち(有田市)の未来がよりよいものになるか、それぞれの役割の中で考えを深める貴重な機会になりました。※一般質問では市役所の関係職員の方が答弁し、市の考え方などについて述べてくれました。

一般質問〈中学校統合後の校舎及び跡地について〉 慈幸 心

一般質問〈有田市の都市開発について〉 吉田 春人

一般質問〈有田市の水道業務について〉 児嶋 湧斗

会議録署名 雑賀 彩光

庁内放送 池田 達哉



〈ボランティア〉

箕島公民館の夏の地域ふれあい広場「子ども行灯まつり」のポスター制作と行灯作りに本校2年生の 林 碧空さん、中谷 瑠花さん、酒井 志織さんの3名がボランティアで参加しました。箕島公民館の方から3名のみなさんが作成したポスターや行灯の写真をいただきました。校長室の前にいただいた実物を掲示していますので、みなさんぜひみてください

箕中生が地域社会の一員として、よりよい地域社会をつくっていくための取組に積極的に参加するって本当に素晴らしいことです。このような活動がどんどん広がっていくといいですね。

